

取扱説明書

TWINPOWER

SuperSHIP

株式会社スマートネット

株式会社シマノ	名古屋営業所	〒454-0012 名古屋市中区尾頭橋2-6-21 TEL(052)331-8666
株式会社シマノ	仙台営業所	〒983-0043 仙台市宮城野区藤原町12-17-10 TEL(022)232-4775
株式会社シマノ	大宮営業所	〒331-0022 玉川本郷三橋2-684-1 TEL(048)622-3815
株式会社シマノ	東京営業所	〒113-0013 東京都大田区大森南1-17-17 TEL(03)3744-5656
株式会社シマノ	千葉営業所	〒284-0045 千葉県柏市美和丘1-30-11 TEL(043)433-1780
株式会社シマノ	静岡営業所	〒410-0807 静岡県沼津市鈴木町1674 TEL(0559)362-3983
株式会社シマノ	佐賀営業所	〒841-0048 佐賀県鳥栖市藤原町1-1-1 TEL(0942)983-1515
株式会社シマノ	岡山営業所	〒700-0941 岡山市青江2-6-18 TEL(086)264-6100
株式会社シマノ	広島営業所	〒734-0005 広島市南区翠1-11-6 TEL(082)255-8143
株式会社シマノ	四国営業所	〒768-0014 香川県観音寺市流洞町1-996-1 TEL(0875)23-2220
株式会社シマノ	九州営業所	〒811-0012 熊本県宇城市藤原町岩坂4-6 TEL(0942)983-1515

本社：〒590-8577 大阪府堺市老松町3丁77番地
株式会社 ミヤコ釣具事業部

プリマリーダイヤル **0120-861130** (ハローエイサオ) 受付時間: AM9:00 ~ 12:00・PM1:00 ~ 5:00(土・日祝祭日除く)
専用サービス課 : 〒592-8331 大阪府堺市築新町1-5-15
商品の修理、バッテリー交換等のアフターサービスに関するお問い合わせ TEL.(0722)43-2860
新製品やタックル換装エンジン、気象情報などシマノならではのオリジナル情報を発信しています。
<http://www.shimano.co.jp> です。

安全上のご注意 ご使用前に必ずお読みください。

注意

ゲ（投げる）の時は、

<p>周囲の人に行け話をさせるおそれがあります。</p> <p>キヤスティング（投げる）の時は、ストッパーをONにして投げてください。OFFにして投げると、ハンドル等が逆転し、手に当たりけがをするおそれがあります。</p> <p>ストッパーをOFFにして釣っていると、ハンドル等が逆転し、手に当たりけがをするおそれがあります。</p> <p>糸が勢いよく出ている時は、糸にぶれないでください。糸で指を切るおそれがあります。</p>	<p>回転しているハンドル、ローター等には、触れないでください。 けがをするおそれがあります。</p> <p>レバーブレーキ付きリールでは、レバーを操作する時、指を伸ばすと回転しているローターに当たりけがをするおそれがあります。</p>
---	--

今までのスピニングリールを更にパワーアップしたSUPER SHIP

Super SHIP

SUPER SHIP (SMOOTH & HIGH POWER SYSTEM スムース & ハイパワーシステム) とは...

従来のSHIPにさらに磨きをかけたSUPER SHIPは、よりパワフルで敏感な巻き上げ、軽く超スムーズな回転を実現したシステムです。

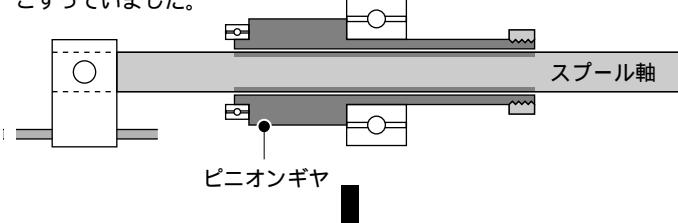
【SUPER SHIPコンセプト】

SUPER SHIP

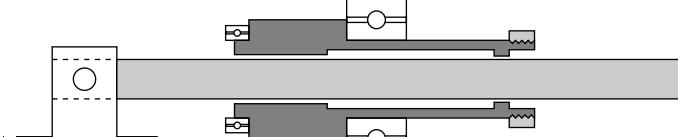
歯の形状を徹底的に研究し開発した大口径マスターギヤを搭載しました。そして独自のカタチを持つ歯面を、ラッピング処理により磨き上げることで、まるで吸い着くように滑らかで、軽い巻き上げが可能になりました。

フローティングシャフト
ハイパワーのポイントとなるフローティングシャフトは、今までリール回転時にこすっていたスプール軸とビニオンギヤの摩擦を大きく軽減しています。

従来、ビニオンギヤの内側全体でスプール軸がこすっていました。



スプール軸とビニオンギヤの摩擦を軽減しています。



3000MGSのイメージイラストです。

テクニウムボディ
高剛性、高精度、高感度を誇る金属ボディです。
コンパクトでしかも薄く、マスターギヤ部の出っ張りがないフラット感のあるボディが糸ガラミを防止します。

超軽量マグネシウムローター

超軽量マグネシウムローターによるリール全体の軽量化により操作性と感度を向上させました。



糸巻き形状の調整

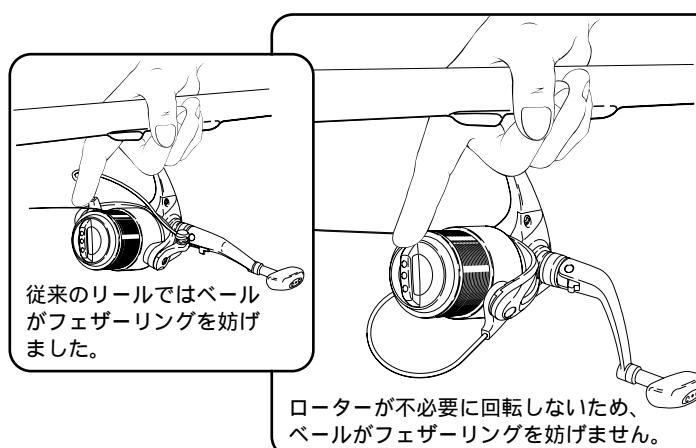
糸巻き形状の調整が可能なため、フロロカーボンのような堅い糸でのバックラッシュのトラブルを防止できます。

パワーローラーIII

細糸でもヨレない新型のローラーを採用、さらにトラブルの減少を図っています。(下段「パワーローラーIII」の項を参照)

POSITIVE&FRICTION BAIL

ポジティブ&フリクションベール
ベールを開くとカチッというクリック音がしてベール操作がスピーディに行えます。
キャストの時リターンしにくく、適度なフリクションがかかるため、ローターが回転してベールがじゃまになりフェザーリング(サミング)の妨げになるのを防止します。



ウォータープルーフドラグ

微調整が可能で操作性にすぐれたマイクロクリック機構付ウォータープルーフドラグです。雨天や潮をかぶるなどの過酷な条件でもドラグ性能が変化しません。

その他の機能

- スーパースッパーII (ローラーベアリング1個内蔵)
- ハイブリッドアルミスプール
- ロングストローク・完全平行巻
- バイオグリップ
- 軽量・トラブルレス新形状アームカム
- ボールベアリング8個内蔵
- ロングライフスプリング
- アルマイタルミスプールリング

POWER ROLLER

パワーローラーIII

竿の穂先やガイドへの糸がらみなど、トラブルの原因となる糸ヨレは主に糸を巻きとる時に生じます。
そこでシマノのスピニングリールには、糸を巻きとる時、糸のヨレを50%解消する新開発「パワーローラー」を採用。
ライントラブルの減少を図りました。 1
(当社比、基準による) 2

1 糸ヨレについて

次のような外的条件によっては、ローラー性能が発揮できないため、糸ヨレが生じる場合があります。
ご了承下さい。

もともと糸がヨレている時。

ドラグが作動した時。

仕掛けが回転して、ヨリをかけている時。

新しい糸を巻くおり、巻き方が不適切だった時。

非常に軽い仕掛けの巻きとりでローラーが回転しない時。

仕掛けを投げた直後の糸フケを巻きとる時。

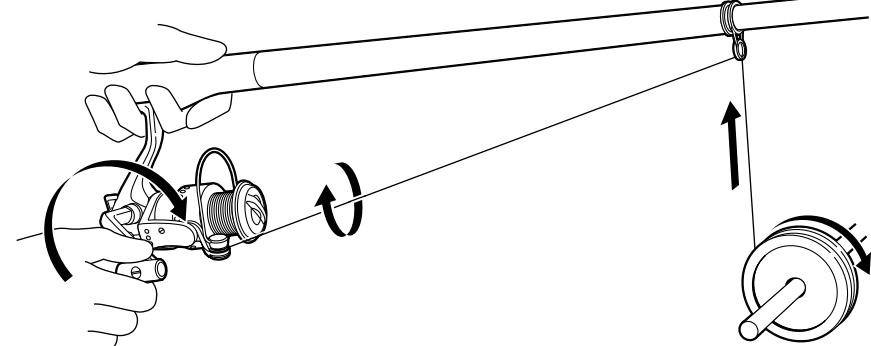
その他、糸にテンションがかからずローラーが回転しない時。

2 当社比、平均50%解消

磯釣、投げ釣、ルアーフィッシングなど異なる釣種の色々な使用条件下(仕掛け、ルアー、巻きとり具合)で1日釣をしたということを想定したテスト(当社品質規格)を行い、従来商品と比較したデータです。
平均で50%解消していますが、使用条件によりその効果は多少異なります。

パワーローラーIIIご使用上の注意

「パワーローラーIII」で快適な釣りを楽しんでいただくために、スプールに新しく糸を巻く場合は、下図の要領で糸を巻いて下さい。



図のようにリールを竿に取り付けます。

第1ガイドから糸を通してスプールに結びます。

ドラグの締まっていることを確認して下さい。

糸が巻かれているボビンに割り箸のような軸になるものを通します。

それを誰かを持ってもらい、適度なテンションをかけてボビンを回転させながら糸を巻いて下さい。

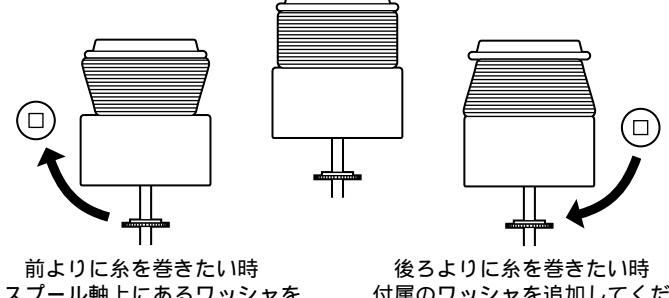
操作方法

糸巻き形状の調整方法

工場出荷時には、最適な糸巻き形状となる様に調整されていますが、付属の調整ワッシャを使用することで、下図のように糸巻き形状を好みに応じて調整することができます。

また、フロロカーボンのような堅い糸でのバックラッシュのトラブルを防止するには、前より糸を巻くようにしてください。

メーカー出荷時
(標準号数 例 : 2500MGS・5lb)



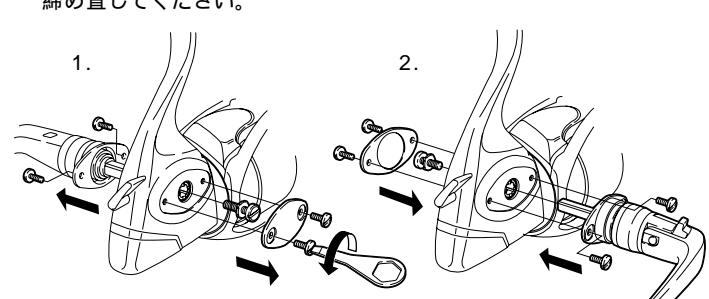
前よりに糸を巻きたい時
スプール軸上にあるワッシャを減らしてください。

後ろよりに糸を巻きたい時
付属のワッシャを追加してください。

ハンドルの左右付け替え方法

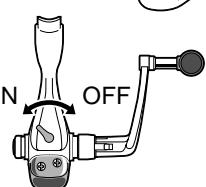
1. 図のように、ハンドルの根元を固定しているキャップのネジ2本を付属のリールレンチでゆるめてはずします。
同様に反対側のロゴ入りキャップのネジ2本とそのキャップの下の中央にある1本のネジもはずしてしまいます。

2. ハンドル側とロゴ入りキャップ側の部品の場所を入れ替えネジを締め直してください。



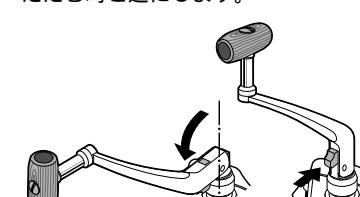
ストッパーツマミの操作

リール後ろから見てツマミが左に倒れている時(ON)、逆転止めがかかり、ハンドルは正転方向にしか回りません。通常の巻取りやドラグで魚とやりとりする時に使用します。
同様に、ツマミが右に倒れている時(OFF)、逆転止めが解除され、正転、逆転どちらの方向にも回ります。ハンドル逆転による糸の送り出しができます。



ワンタッチハンドルの 折りたたみ方法

ハンドルをたたむ時は、ワンタッチボタンを押して、手前に倒してください。ハンドルをのばす時は、たたむ時と逆にします。



ラインホルダー

とめ方

人差し指でラインホルダーを押さえるようにし、爪の上に糸をすべらしてガイドしながらラインホルダーに糸を引っかけてください。(ラインホルダーに一周巻き付けてより強力に固定することができます。)



ドラグの調整方法

ドラグは、その強弱を調整することによって急激な魚の引きに対し、スプールが空転して糸切れを防ぐ機構です。

1. 実際に使用される竿に本体をセットし、道糸をガイドに通してください。
2. ストップーONの状態で、図のように糸を引き出しながら、ドラグツマミの締めつけを調節してください。
ドラグ力は右に回すと強くなり、左に回すと弱くなります。
3. 通常は糸切れを起こす寸前の力でスプールが空転し、糸が出ていくように調節してください。また遠投などする時は、必ずドラグをよく締めつけてから投げるようにしてください。ドラグが滑って糸で手を傷つけることがあります。



取り付け方

スプールをゆっくり回しながら、スプール軸が完全につきぬけるまで入れ、ドラグツマミを時計回りに回して締めつけてください。